

エネルギー環境 教育のひろば

北海道エネルギー環境
教育研究会
広報部会
2015/1/20 発行
第33号



道南支部公開授業研究会開催

北斗市立大野小学校を会場に開催

低学年ブロック 北斗市立久根別小学校 田原かなつ栄養教諭
 中学年ブロック 北斗市立上磯小学校 野津 聖美栄養教諭
 高学年ブロック 北斗市立大野小学校 岸部理津子栄養教諭

道南支部公開授業研究会が十一月七日(金)に、北斗市立大野小学校(鈴木洋美校長、児童365人)で開かれた。会員や近隣市町の教員約120名が参加し、食育と結びつけたエネルギー環境教育を探った。



や渡島特別活動研究会、南北北海道情報教育研究会、函館市情報教育研究会にも連携していただき準備や運営を担っていただいた。公開授業は大野小学校の児童が低、中、高のブロックに分かれ三人の北斗市の栄養教諭と大野小学校の先生方とともに食育について学習する内容であった。

低学年ブロックでは、「給食を残さず食べて、もつと元気になろう」という内容で田原かなつ栄養教諭が行った。「どうして給食はいろいろなものが出るのかな?」という課題を映像通して、食べ物の働きを知ったり、給食にかかわる人がたくさんいることを知らせたりしながら子どもたちが食事の大切さを自然に理解していくという流れとなっていた。



また、中学年では、野津聖美栄養教諭が給食の残量をグラフで提示。子どもたちが中学年と高学年での違いに驚き「給食のとり方について考えよう」という内容に迫っていった。子どもたちは地元で取れる食材の多さを知り、自分の食事のとり方を改善していくという強い意識をどの子どもも持つようになった。

高学年では、岸部理津子先生が食料の輸送にかかる負担を数値化してフードマイレージについて説明し、輸送コストが少ない地産地消の良さを伝えた。フードマイレージを下げる方法を児童がそれぞれ考え、発表し、「近くで買える野菜を栽培する」「北斗市で取れたものを食べる」といった意見が出された。

その後、低中高のブロック毎に分科会が行われ、授業についての活発な討議がなされた。

昼食時には北斗市産の「ふっくりんこ」「きたくりん」のご飯の上に北斗市で考案された「農協のトマトカレー」、地産地消の野菜サラダ、アイスクリームを頂くことができた。昼食後、体育館で開会式が行われ、研究の概要が詳しく説明された。

引き続き、北海道教育大学鶴岡光子教授より「放射線教育と食育」テーマにご講演をいただき大変充実した深まりのある公開授業研究会となった。



道内視察 函館で実施

道南支部公開授業研究会の翌日十一月八日(土)に本会開発部会主催による今年度の道内視察を行った。

今回は、函館市弁天町にあるオーブンしたばかりの「函館国際水産・海洋総合研究センター」と歴史と伝統のある「函館どつく」を視察することとなった。「函館国際水産・海洋総合研究センター」は、産学官が連携しマリンスイエンス分野で世界をリードしようとする目的での最新施設である。その施設の素晴らしさに一同驚かされた。また、「函館どつく」では、間近に大型貨物船が作られる様子や大型自衛艦の整備状況を船底まで見せていただき参加者一同童心に帰って見学した。



道東支部 研修会実施

平成26年11月17日(月)釧路教育センター講座「エネルギー環境教育」を本会道東支部が主催した。

午前中は、北電釧路統括電力センター(系統制御室・変電所等)施設を見学。

午後は、釧路市立景雲中学校山岡雅典教諭による中三理科「科学の発展と人間の生活。将来の発電方法の組み合わせは？」公開授業研究会を行った。

電力管理の現状視察と実際の公開授業から参会者にとっては、あらためて「エネルギー環境教育」について学ぶ貴重な機会となった。



研究部 勉強会開催



研究部会は、平成26年10月20日にホテルライフォートにて、研究部会の今年度の授業交流会は、授業交流を行わず、中学校英語についての勉強会を開催いたしました。

当日は市内の中学校の英語の先生に資料を用意していただき発表をお聞きしました。お話の内容は、英語の全学年で教科書に環境・エネルギーの内容(二年リサイクル活動、二年地球環境サミット、三年5Rと地球温暖化)が盛り込まれており、英語の教科を用いての本会の研究主題へせまる可能性や他教科とのコラボ授業の発展性を示していただく内容でした。レクチャーしていただいた先生にはくわしい資料、映像を用意され、ていねいに説明していただき、今後の研究の糧となる基礎を学ぶことのできた勉強会となりました。

日本エネルギー環境教育学会で 昨年度の札幌大会の成果を発表

八月八日・九日と日本エネルギー環境教育学会全国大会が千葉船橋市と東邦大学工学部で行われた。昨年度の札幌大会での授業実践をもとに三本の研究発表を行った



やグラフを使って「見える化」に取り組み、節電に関わる人をもっと増やすそうとする行動が生まれた授業実践を発表。

小学校 家庭科の実践発表

発寒南小学校 田中 恭子教諭

掃除をして出てきた不用品を製品化される過程に視点をあて、不用品にごみにせず活かすための方法を考え、「分ければ資源、混ぜればごみ」を合言葉に、授業で学んだことを家庭での行動へつなげていった授業実践を発表。

小学校理科の実践発表

発寒南小学校 元起克敏教諭

変換効率世界一の光電池を使い、長所と短所を明らかにしながら、短所を克服する人々の取組や技術の進歩に触れ、化石燃料には限りあること、環境を保全しながら今の生活レベルを維持しなくてはならないということに気付かせていった授業実践発表を行った。

小学校 総合的な学習実践発表

発寒南小学校 徳本亜美教諭

学校における節電作戦を考え、電気は目に見えないことから数字



全体研修会のご案内

今年度の全体研修会を以下の日程で行います。今年度は「食育と放射線教育」で大きな成果を上げた道南支部の研究大会の成果・道東支部研究報告会報告会を中心に会を企画いたしました。道南大会でご講演いただいた北海道教育大学鶴岡光子黄教授を助言者としてお迎えし内容について深めてまいりたいと思います。右記のように予定しております。皆様の参加を心よりお待ちしております。

平成27年2月14日(土)

場所 ホテルライフォート

日程 13時30分〜受付

14時〜道南大会報告会

道東支部活動報告

16時〜終了予定

北海道エネルギー
環境教育研究委員会
連絡先
北海道エナジートーク21
札幌市中央区北1条西5丁目
北1条三井ビル2F
TEL 011(251)9710
FAX 011(251)3974
<http://www.enetalk21.gr.jp>